

住まいの診断カルテ

～住まい方を工夫し改善しよう～

2年 家庭科

「安全で快適な住まい方」
資料の活用(探究的な学習)

ねらい

- 安全で快適な住まい方を考え、自分の生活に結び付け工夫できる。
- 問題を分析し、問題解決に必要な情報を収集することができる。

学習展開・・・・・・・・・・

- ① 地震・安全・防音・ダニ・カビの中から各自でテーマを決める。
- ② テーマの問題点を探る。
- ③ 問題解決のための改善策を資料の中から調べ、結果をまとめる。(取り組みの中で記録したメモや写真を用いる)
- ④ わからないことや専門的なことは教科担当教員に尋ねながら進め、改善策を明らかにし、気付いたこともまとめる。
- ⑤ 各自でまとめたものを発表し、自己評価や他の人からのコメントを参考にふり返る。



授業の目的や流れを聞く



まとめと活用資料を展示

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は教科担当教員と、生徒の学びが家庭での実践につながるためのワークシート形式について話し合う。
- 学校司書は、教科担当教員から事前に授業内容を確認し、テーマに沿った資料を収集する。
- 学校司書はテーマ資料の NDC 配架を説明し、生徒の活動を T2 で支援する。
- 学校司書は生徒のまとめたものを掲示する。

★指導のポイント

- ◆ 図書資料の他、官公庁や自治体の広報誌にも関心を持たせる。
- ◆ 「問い-追究-学び」の学びのサイクルを基本に、何気なく過ごしている日常生活の中で、視点を具体化した問題を提起し、生徒の思考を整理させ、よりよい生活者としての学びを追究させる。

資料

「みんなの防災ハンドブック」「防災 BOOK」「防災グッズ大図鑑」「耐震・防犯・防火・防災に強い家づくり 89の方法」「断熱・防湿・防音が一番わかる」「我が家もバリアフリー」「バリアフリー住宅読本」「住宅バリアフリープラン実例集」「バリアフリー生活用品 100」「東京防災」広報誌 他 25 種